

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月5日

上場会社名 株式会社 マンダム
 コード番号 4917 URL <http://www.mandom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務管理部長 (氏名) 武田 勝則
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日

上場取引所 東

TEL 06-6767-5001

平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	30,870	—	4,503	—	4,650	—	2,463	—
20年3月期第2四半期	30,352	11.2	4,762	37.9	4,739	36.3	2,488	39.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	103.56	—	—	—
20年3月期第2四半期	104.61	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第2四半期	54,971	—	46,363	77.5	—	—	1,791.14	—
20年3月期	54,218	—	45,868	78.1	—	—	1,779.67	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 42,606百万円 20年3月期 42,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
21年3月期	—	40.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	58,400	3.8	6,900	0.9	6,830	1.9	3,520	0.6	147.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。](3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期 24,134,606株	20年3月期 24,134,606株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期 347,234株	20年3月期 346,551株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期 23,787,761株	20年3月期第2四半期 23,788,718株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国を中心とした海外景気の減速により外需が後退し、企業収益の減少や設備投資の抑制を招き、諸物価高騰により個人消費も生活防衛に入るなど、景気後退が鮮明化しました。当化粧品業界におきましても、マクロ指標（出荷数量・金額）は横這いで推移し、コストアップを販売価格に転嫁できず、依然として厳しい市場環境下にあります。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、資源高や貿易の減速化などネガティブな景況の中で緩やかな拡大基調を辿りました。

このような状況のもと、当第 2 四半期連結累計期間の連結売上高は、308 億 70 百万円（前年同期比 1.7%増）となりました。主として、国内においてコア・ブランド「ギャツビー」が夏シーズン商品の寄与により売上を拡大したことや、アジア全域においても「ギャツビー」ブランドが順調に売上拡大し、第 1 四半期よりタイ子会社（MANDOM CORPORATION (THAILAND) LTD.）を連結対象に加えたことによるものであります。

営業利益は、45 億 3 百万円（同 5.4%減）となりました。これは主として、販売費及び一般管理費が低水準で推移したものの、国内外ともに原材料の高騰と為替のマイナス影響が原価アップにつながったことによるものであります。

この結果、経常利益は 46 億 50 百万円（同 1.9%減）、四半期純利益も 24 億 63 百万円（同 1.0%減）となり、当第 2 四半期連結累計期間の業績は微増収・減益となりましたが、平成 20 年 5 月 13 日公表の「第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想」は上回ることができました。なお、当期の中間配当金は当初予定通り 1 株当たり 40 円とさせていただきます。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における売上高は 206 億 47 百万円（同 0.1%増）となりました。主として、男性グルーミング分野においてコア・ブランド「ギャツビー」の夏シーズン商品の牽引により売上が拡大したことや、女性コスメタリー分野における主力ブランド「ルシードエル」の全面リニューアルが売上に寄与したものの、一方で予想以上に既存品が伸び悩んだことによるものであります。利益面においては、販売費及び一般管理費が低水準で推移したものの、原材料価格の高止まりによるコストアップを受け、営業利益は 28 億 82 百万円（同 3.1%減）となりました。

一方、アジアにおける売上高は 102 億 23 百万円（同 5.0%増）となりました。これは男性グルーミング分野における主力ブランド「ギャツビー」が、一部地域の伸び悩みがあるものの、アジア全域で好調に推移したことや、インドネシア子会社（PT MANDOM INDONESIA Tbk）の海外売上高も順調に売上を伸ばしたことによるものであります。この結果、当第 2 四半期連結累計期間におけるアジアの連結売上高に占める割合は 33.1%となりました。利益面においては、海外生産拠点であるインドネシア子会社における原価高や為替のマイナス影響が原価アップにつながったことにより、営業利益は 16 億 16 百万円（同 9.6%減）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金が増加したことにより前期末より 7 億 52 百万円増加して 549 億 71 百万円となりました。純資産は主に期間利益の留保により利益剰余金が増加したことから、前期末より 4 億 94 百万円増加して 463 億 63 百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、30 億 5 百万円のキャッシュ・インとなりました。これは主として、税金等調整前当期純利益が 46 億 43 百万円、たな卸資産の増減額が 3 億 73 百万円、法人税等の支払額が 16 億 84 百万円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1 億 69 百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは日本およびインドネシアにおける設備投資を中心に有形固定資産の支出が 13 億 21 百万円のキャッシュ・アウト、有価証券・投資有価証券の取得および売却・償還による収支額が 16 億 80 百万円のキャッシュ・インであったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10 億 78 百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは少数株主への配当金の支払額を含め株主配当金の支払額が 14 億 3 百万円であったことと、インドネシア子会社の増資に伴う少数株主からの払い込みによる収入が 3 億 33 百万円であったことによるものであります。なお、連結範囲の変更に伴い現金及び現金同等物が 69 百万円増加しております。

以上の結果、当第 2 四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、16 億 21 百万円増加し 114 億 12 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当下半期は、米国の金融危機が自国のみならず世界的な実体経済の悪化を招き、日本経済においても金融不安や政局不安による景気後退局面が拡大するものと思われます。また、化粧品市場も、消費者マインドの冷え込みにより市場が縮小し、さらなる競争環境の激化が予想されます。

このような状況下において当社グループは、主に男性グリーミング分野におけるコア・ブランド「ギャツビー」のさらなる浸透に注力するとともに、中国市場をはじめとした海外におけるマーケット特性に応じた商品開発・マーケティング活動を強化することにより、売上高は前期を若干上回る見通しであります。

利益面では、国内外ともに原材料費の高止まりによる原価アップや、さらなる円高による海外子会社財務諸表への為替のマイナス影響など不透明な下振れ要因は払拭できないものの、現時点では「平成 20 年 5 月 13 日公表の通期業績予想」を変更せず、計画達成に向け努力してまいります。

以上により、当期の連結売上高は 584 億円（前期比 3.8%増）、営業利益 69 億円（同 0.9%増）、経常利益 68 億 30 百万円（同 1.9%増）、当期純利益 35 億 20 百万円（同 0.6%増）を予定しております。

なお、業績変動リスクにつきましては、成長エンジンである海外子会社の財務諸表が為替変動により大きな影響を受けるため、当該見通しは、主要な為替レートに関して、0.0113 円/インドネシア・ルピア（下期のみでは 0.0110 円/インドネシア・ルピア）を前提として算定しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第 2 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当社および国内連結子会社は当第 2 四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号（平成 5 年 6 月 17 日（企業会計審議会第一部会）、平成 19 年 3 月 30 日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号（平成 6 年 1 月 18 日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成 19 年 3 月 30 日改正））が平成 20 年 4 月 1 日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第 1 四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更により、従来、営業外費用で処理しておりました「たな卸資産廃棄損」は、第 1 四半期連結会計期間より売上原価に含めて処理しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. 第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,667,353	5,066,727
受取手形及び売掛金	6,343,466	5,689,044
有価証券	8,591,274	7,452,449
商品	1,546,346	1,452,136
製品	3,197,469	3,366,637
半製品	—	112
原材料	1,679,864	1,389,003
仕掛品	299,688	269,088
その他	2,067,198	1,600,498
貸倒引当金	△30,116	△14,492
流動資産合計	30,362,544	26,271,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,771,451	8,971,562
その他（純額）	6,497,531	6,387,707
有形固定資産合計	15,268,983	15,359,269
無形固定資産		
のれん	433,789	137,235
その他	337,185	354,705
無形固定資産合計	770,974	491,941
投資その他の資産		
投資有価証券	6,594,699	10,796,717
その他	2,062,433	1,387,662
貸倒引当金	△88,022	△87,922
投資その他の資産合計	8,569,111	12,096,457
固定資産合計	24,609,070	27,947,668
資産合計	54,971,614	54,218,874

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	845,234	799,311
未払法人税等	1,601,703	1,434,846
賞与引当金	862,664	750,789
その他の引当金	311,584	403,500
その他	3,355,724	3,328,345
流動負債合計	6,976,910	6,716,793
固定負債		
引当金	555,601	487,587
その他	1,075,282	1,145,511
固定負債合計	1,630,884	1,633,098
負債合計	8,607,795	8,349,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,208	11,235,206
利益剰余金	24,269,499	23,129,484
自己株式	△955,247	△953,356
株主資本合計	45,944,277	44,806,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△229,884	156,262
為替換算調整勘定	△3,107,865	△2,627,631
評価・換算差額等合計	△3,337,749	△2,471,369
少数株主持分	3,757,291	3,534,200
純資産合計	46,363,819	45,868,982
負債純資産合計	54,971,614	54,218,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	30,870,986
売上原価	13,736,746
売上総利益	17,134,240
販売費及び一般管理費	12,631,051
営業利益	4,503,188
営業外収益	
受取利息	65,779
受取配当金	43,952
その他	121,641
営業外収益合計	231,373
営業外費用	
売上割引	20,147
為替差損	32,731
その他	31,639
営業外費用合計	84,518
経常利益	4,650,044
特別利益	
貸倒引当金戻入額	323
固定資産売却益	7,342
投資有価証券売却益	8,936
特別利益合計	16,602
特別損失	
固定資産売却損	3,364
固定資産除却損	20,036
特別損失合計	23,400
税金等調整前四半期純利益	4,643,246
法人税等	1,840,867
少数株主利益	338,901
四半期純利益	2,463,476

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	16,091,378
売上原価	7,139,810
売上総利益	8,951,567
販売費及び一般管理費	7,058,575
営業利益	1,892,991
営業外収益	
受取利息	29,153
受取配当金	10,424
その他	60,326
営業外収益合計	99,904
営業外費用	
売上割引	10,047
為替差損	31,039
その他	7,949
営業外費用合計	49,036
経常利益	1,943,859
特別利益	
固定資産売却益	3,834
投資有価証券売却益	5,129
特別利益合計	8,963
特別損失	
固定資産売却損	3,282
固定資産除却損	9,239
特別損失合計	12,521
税金等調整前四半期純利益	1,940,301
法人税等	762,005
少数株主利益	140,704
四半期純利益	1,037,591

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,643,246
減価償却費	1,141,858
のれん償却額	78,533
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,936
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,378
賞与引当金の増減額 (△は減少)	112,119
受取利息及び受取配当金	△109,732
為替差損益 (△は益)	6,013
売上債権の増減額 (△は増加)	△642,044
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△373,915
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,866
未払金の増減額 (△は減少)	126,253
その他	△457,858
小計	4,580,782
利息及び配当金の受取額	109,679
法人税等の支払額	△1,684,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,005,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△4,394,883
有価証券の売却及び償還による収入	1,400,000
有形固定資産の取得による支出	△1,321,021
無形固定資産の取得による支出	△100,179
投資有価証券の取得による支出	△475,375
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,150,380
子会社出資金の取得による支出	△75,716
その他	△352,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,187,894
少数株主への配当金の支払額	△215,398
少数株主からの払込みによる収入	333,986
その他	△8,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,078,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	△206,483
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,552,034
現金及び現金同等物の期首残高	9,791,122
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,412,806

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	日本(千円)	アジア(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	20,647,299	10,223,687	30,870,986	—	30,870,986
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,583,012	333,067	1,916,080	△1,916,080	—
計	22,230,312	10,556,754	32,787,067	△1,916,080	30,870,986
営業利益	2,882,445	1,616,053	4,498,498	4,690	4,503,188

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	9,207,664	1,207,299	10,414,963
II 連結売上高(千円)			30,870,986
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	29.8	3.9	33.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」
前年同四半期にかかる財務諸表
(1) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)	
	金額	百分比
	千円	%
I 売上高	30,352,816	100.0
II 売上原価	12,992,081	42.8
売上総利益	17,360,734	57.2
III 販売費及び一般管理費	12,598,231	41.5
営業利益	4,762,503	15.7
IV 営業外収益	236,628	0.8
受取利息	74,835	
受取配当金	25,399	
受取賃貸料	20,851	
その他	115,541	
V 営業外費用	259,314	0.9
たな卸資産廃棄損	197,116	
その他	62,198	
経常利益	4,739,816	15.6
VI 特別利益	53,434	0.2
貸倒引当金戻入益	13,387	
固定資産売却益	39,676	
投資有価証券売却益	371	
VII 特別損失	24,348	0.1
固定資産除却損	24,348	
税金等調整前中間純利益	4,768,903	15.7
法人税、住民税及び事業税	1,945,809	6.4
法人税等調整額	△ 47,381	△0.2
少数株主利益	381,967	1.3
中間純利益	2,488,506	8.2

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
	千円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	4,768,903
減価償却費	1,057,833
のれん償却額	27,447
(投資) 有価証券売却損 (益)	△ 371
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	△ 9,171
返品調整引当金の増減額 (減少: △)	△ 12,000
賞与引当金の増減額 (減少: △)	127,685
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	3,025
受取利息及び受取配当金	△ 100,235
為替差損益 (差益: △)	△ 9,109
有形固定資産除却損	23,436
売上債権の増減額 (増加: △)	△ 546,635
たな卸資産の増減額 (増加: △)	266,228
仕入債務の増減額 (減少: △)	△ 259,313
その他	360,187
小 計	5,697,911
利息及び配当金の受取額	100,429
利息の支払額	△ 1,697
法人税等の支払額	△ 795,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,001,018
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 90,303
定期預金の払出による収入	47,700
有価証券の取得による支出	△ 1,049,279
有価証券の償還・売却による収入	1,050,024
有形固定資産の取得による支出	△ 1,130,127
無形固定資産の取得による支出	△ 37,570
投資有価証券の取得による支出	△ 3,123,407
投資有価証券の償還・売却による収入	800,742
その他	△ 335,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,867,286
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△ 1,448
少数株主への配当金の支払額	△ 232,082
配当金の支払額	△ 710,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 944,080
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	61,785
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	251,436
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,783,525
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	163,964
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	9,198,926

(3) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位: 千円)

	日本	アジア	合計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	20,617,531	9,735,284	30,352,816	—	30,352,816
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,543,011	350,565	1,893,577	△1,893,577	—
計	22,160,543	10,085,850	32,246,393	△1,893,577	30,352,816
営業費用	19,186,561	8,298,625	27,485,187	△1,894,874	25,590,312
営業利益	2,973,981	1,787,224	4,761,206	1,296	4,762,503

[海外売上高]

前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位: 千円)

	アジア	その他の地域	計
I. 海外売上高	9,072,148	899,535	9,971,684
II. 連結売上高	—	—	30,352,816
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 29.9	% 3.0	% 32.9

「参考」
 四半期個別財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第 2 四半期会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	3,535,641	2,630,307
受取手形及び売掛金	3,099,701	3,112,419
有価証券	8,591,274	7,452,449
商品	313,238	332,208
製品	1,907,908	2,047,925
半製品	—	112
原材料	599,950	545,254
仕掛品	146,555	146,797
その他	1,453,780	1,067,278
貸倒引当金	△454	△373
流動資産合計	19,647,598	17,334,382
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,095,259	7,233,595
その他（純額）	4,371,668	4,036,322
有形固定資産合計	11,466,928	11,269,918
無形固定資産		
	295,962	310,752
投資その他の資産		
投資有価証券	6,319,847	9,780,497
関係会社株式	7,079,389	6,512,460
その他	3,056,095	2,013,082
貸倒引当金	△85,423	△85,323
投資その他の資産合計	16,369,909	18,220,716
固定資産合計	28,132,800	29,801,388
資産合計	47,780,399	47,135,770

(単位：千円)

	当第 2 四半期会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	621,173	708,147
未払法人税等	1,262,280	1,171,354
賞与引当金	650,434	651,361
その他の引当金	288,900	403,500
その他	2,678,554	2,683,173
流動負債合計	5,501,343	5,617,537
固定負債		
引当金	174,237	122,599
その他	1,032,336	1,043,790
固定負債合計	1,206,574	1,166,390
負債合計	6,707,917	6,783,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394,817	11,394,817
資本剰余金	11,235,208	11,235,206
利益剰余金	19,630,859	18,522,438
自己株式	△955,247	△953,356
株主資本合計	41,305,637	40,199,105
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△233,155	152,737
評価・換算差額等合計	△233,155	152,737
純資産合計	41,072,482	40,351,842
負債純資産合計	47,780,399	47,135,770

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)
売上高	21,297,525
売上原価	9,332,904
売上総利益	11,964,621
販売費及び一般管理費	9,143,283
営業利益	2,821,337
営業外収益	
受取配当金	719,213
その他	121,282
営業外収益合計	840,495
営業外費用	69,737
経常利益	3,592,095
特別利益	
貸倒引当金戻入額	63
投資有価証券売却益	8,936
特別利益合計	8,999
特別損失	
固定資産売却損	2,753
固定資産除却損	19,735
特別損失合計	22,488
税引前四半期純利益	3,578,606
法人税等	1,280,783
四半期純利益	2,297,823

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

【第 2 四半期会計期間】

(単位：千円)

当第 2 四半期会計期間 (自 平成 20 年 7 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)	
売上高	11,464,572
売上原価	4,998,348
売上総利益	6,466,224
販売費及び一般管理費	5,275,053
営業利益	1,191,170
営業外収益	
受取配当金	10,418
その他	61,523
営業外収益合計	71,941
営業外費用	41,889
経常利益	1,221,223
特別利益	
貸倒引当金戻入額	20
投資有価証券売却益	5,129
特別利益合計	5,149
特別損失	
固定資産売却損	2,670
固定資産除却損	9,128
特別損失合計	11,798
税引前四半期純利益	1,214,574
法人税等	424,451
四半期純利益	790,122

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。